

# 教組米沢

## Newsletter

米沢市教職員組合

〒992-0039 米沢市門東町 2-3-27  
米沢教育と文化の会館  
TEL (0238) 23-1542  
FAX (0238) 23-1560  
HP : <https://yonezawa-tu.jp/>  
Mail : [ytuandztu@lemon.plala.or.jp](mailto:ytuandztu@lemon.plala.or.jp)

2023年 11月 27日 第35号

## 働き方改革のために…「自宅で仕事しろ！」

### 来年度予算で、文科省が「仕事持ち帰り」に誘導

文科省はこのほど 2024 年度の概算要求を公表しました。深刻な教員不足と多忙の解消どころか、さらに教員定数を削減し、あろうことか自宅への仕事の持ち帰りを進める内容となっています、

### 教員不足なのに……さらに定数減！

35 人学級が小学校 5 年生まで拡大し、3171 人の定数増です。しかし子どもの数が減ることによる自然減は 7776 人。今年度からの定年引き上げによる「特例定員」(61 歳)の増分を除いても、トータルでは **1866 人の定数減** となります。だいたい 35 人学級も、これまでの加配を削って担任にまわすことになっており、教員の数はどんどん減る一方です。

#### ②少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備等

3,610人

#### ○小学校における35人学級の推進 +3,171人

令和3年3月の義務標準法の改正を踏まえ、令和7年度までに小学校の35人学級を計画的に整備するため、令和6年度は、第5学年の学級編制の標準を35人に引き下げる。

(学級編制の標準の引下げに係る計画)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
学年	小2	小3	小4	小5	小6

※少人数学級等の実施のために措置している加配定数の一部振替を含む。

(参考) 35人学級等の効果検証に必要な実証研究を令和4年度から実施中。

【文科省概算要求資料】～ 自然減を隠し、増加分だけ記載しています

一方、教育業務支援員(スクールサポートスタッフ)は、約 28000 人と大幅な増員予算となっています。非正規の雇用ばかり増やし、全国で大問題になっている「教員未配置」の問題にはなんら取り組んでいません。

### 仕事が増える一方なのに……持ち帰り仕事を推進！

「GIGA スクール」「教育 DX」関連予算が大幅に増額されました。しかしその中身は「全国学力テストの機能拡充」、「先端技術と教育データの利活用推進」など、およそ現場のニーズに

応えるものではなく、さらに現場を忙しくさせ、民間企業に莫大なもうけをもたらすだけです。  
 さらに「校務支援システムのデジタル化」を推進するとして、「ロケーションフリー化とクラウド化の推進」をあげています。カタカナにして格好をつけていますが、なんのことはない、自宅に仕事を持ち帰れるようにするということです。

現状では個人情報や学校から持ち出せないため、「在校等時間」をなかなか減らせないという現場の声に応えたとしていますが、仕事を減らさず時間外手当も出さないまま、**残った仕事は自宅でやれ**、そのためのシステムを整備します、という、全くふざけた予算です。

	現状の課題	今後の目指すべき方向性
データ連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習系の膨大なデータと、校務支援システムに蓄積されたデータとの連携が困難又は高コスト</li> <li>●教育データを学校・教育行政向けに可視化するインターフェースがなく、活用されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔校務系・学習系ネットワークの統合によるシームレスなデータ連携</li> <li>➔データ連携基盤（ダッシュボード）の創出</li> </ul>
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クラウドベースとなっておらず、自宅や出張先での校務処理ができない・緊急時の業務継続が困難</li> <li>●自治体によってシステムが大きく異なり、人事異動の際の負担が大きい</li> <li>●生成AIに入力した個人情報等が、生成AIの機械学習に利用されるリスクがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔ロケーションフリー化とクラウド化の推進</li> <li>➔広域での共同調達の促進</li> <li>➔セキュアな環境下で校務の生成AIの活用に向けた実践例の創出</li> </ul>

【次世代の校務デジタル化推進実証事業】  
 自宅への仕事持ち帰りが「働き方改革」になっています

## 時間外勤務は無給なのに……管理職だけ手当アップ!

人事院勧告で若年層の給与改善は少しずつ進んでいますが、ベテラン層はさっぱり増えません。そんななか、「職務の負荷を踏まえ」として、**管理職と主任だけ手当をアップ**するとしています。学級担任には「職務の負荷」はないのでしょうか。

### ④教師の職責等を踏まえた処遇改善

教師の給与体系の改善については、骨太方針2023に基づき、具体的な制度設計を進めつつ、職務の負荷や職責を踏まえ、先行して以下の処遇改善を図る。

- ①主任手当の額の改善 + 4 億円（令和7年1月からの3か月分）
- ②管理職手当の額の改善 + 4 億円（令和7年1月からの3か月分）

来年度予算なので「3か月分」となっていますが、当然翌年度も続きます。なお管理職手当は、ここ数年、毎年のように増額が続いています。

## 特別支援学校と小中学校を統合？

特別支援教育について、「インクルーシブな学校運営モデル事業」（1億円）が新たに示され、特別支援学校と小中学校を「一体的に運営する学校運営モデル事業」となっています。詳しい内容はまだ不明ですが、教育予算や教職員をさらに削減するために、特別支援学校と小中学校を将来統合しようとしているのではないかと見られています。

**教職員の生活を守るために 組合に結集しましょう**

# 第 50 回・米沢地区母親大会を開催

11月5日（日）西部コミセンで、第50回米沢地区母親大会が開催されました。1972年に第1回が開催され、中断もありましたが記念すべき50回目の大会です。

母親大会は、米沢教組の婦人部と市民・母親が共同して開催し、教職員組合婦人部の最も中心的な活動として引き継がれてきました。近年は婦人部（女性部）の活動があまりできなくなりましたが、大会ではこれまでの歩みを懐かしい写真で振り返りました。



渡辺ゆり子さん（元県議会議員）の記念講演  
（渡辺さんは、米沢市板谷の出身です）

第1回米沢地区母親大会（1972年11月5日 会場・米沢女子高校）



参加者は約800名 オープニングは米沢民謡一家



分科会のように

なつかしい方々



玉虫 ナミ 先生  
（2004年・第32回）



大島 文子 先生  
（1998年・第27回）



情野 時子 先生  
（1995年・第23回）

# 県教委交渉が行われます

山教組による山形県教委交渉が11月27日と30日に行われます。今年の交渉では、特に教職員不足の解消と、その大きな要因ともなっている時間外勤務の改善などを中心に交渉します。重点要求項目は以下の通りです。

## 県教委交渉の重点要求項目 (2023年度山教組一般要求書から)

### 1 時間外勤務の解消等、勤務の改善にかかわる要求

教職員の時間的・精神的に過重な労働により、精神的疾患による休職者の増加、産育休代・病休代教員確保の困難を来し、正常な学校運営が困難になっている。また、教員採用試験応募者の激減や、若手教職員の退職等により円滑な世代交代ができず、今後の本県教育における実践の継承・発展への不安も増大する深刻な状況にある。このような現状を危機的にとらえ、以下の点について検討を行うこと。

- (1) 自由で創造的な教育活動こそが豊かな実践の基盤であり、教職の魅力の根底にあることを再認識し、地域の諸課題をふまえた自発的な実践が展開できるよう、必要な条件整備を進めることを基本とすること。
- (2) 県教委がすすめる「働き方改革」について、在校等時間の表面的な削減だけを目標とするのではなく、そもそもなぜ業務が過重になっているのかを具体的に検証し対応すること。
- (3) 「持ち帰り業務」についてその実態を細かく調査し、削減のための必要な施策を講ずること。
- (4) 新採用者には原則として学級担任を担わせ、子どもの見方や課題の把握、子どもの実態を踏まえた授業づくり、保護者との連携などを実証的に学べるようにすること。

### 4 教職員不足・定数改善に関わる要求

- (1) 産育休代、病代、研修代等が未配置にならないよう、あらゆる方策を講ずること。
- (2) 文科省に対し、以下の内容を含む新たな教職員定数改善計画を策定するよう、県として強力に要請すること。
  - ① 小中学校の全学年を30人以下学級とすること。
  - ② 複式学級を廃止すること。
  - ③ 中学校には、学級数に関わらず全教科の免許所有者を配置すること。
  - ④ 特別支援学級の児童生徒数の上限を6名とし、原則として担任を複数配置とすること。
  - ⑤ 養護教諭、事務職員、栄養教諭、司書教諭は、児童生徒数にかかわらず全校配置とすること。
  - ⑥ 発達障がいへの対応、不登校対応、外国人子女対応等、地域・学校の課題に柔軟に対応できる加配措置の拡充をはかること。

**ろうきん年末キャンペーン中 (12/29まで)**

**10万円以上の定期預金で 1,000円図書券をプレゼント!**

(職場への集金依頼は 東北労働金庫米沢支店 TEL 23-2601へ)